



トランプ体制始動 問われる石破政権の主体性！

石破色は何処へ行った？

石破総理は新年度の施政方針演説を行いました。党内野党などと言われていた独自性はどこへやら、現実に総理になったとたん、すっかり自公政権の元の姿に収まった形だと評されています。

裏金問題の決着はまだほど遠く、誰がいつ初めたのかさえ追及されないままで、そのお金の行方はどうなったのかも不問のまま。さらに東京都議会議員の裏金もまったく同じ構造から発生しています。

地位協定の見直しも、賃上げも掛け声だけ。軍事費の拡大だけは別世界で、2倍化を目指しています。

トランプ米大統領の出方が不明なままですが、彼の関税を振りかざした「トレード」にどのように対処していけるのか。どこまで主体性を持った外交ができるのか注目されます。

アメリカの製造業の不振から失業の増加を解消するとぶち上げた大統領。国内の製造業を守り、雇用を確保するため、外国企業も米国内で製造しろ、そうでなければ極端に高い関税を課す、と脅しに使う手法はいずれ米国内の物価高となり、庶民を苦しめることになって跳ね返るはずだから長持ちしないともいわれます。

日本の企業もメキシコに工場を置き、コストを抑えて製造してアメリカに持ち込むやり方の再検討を迫られているといいます。混乱を”恐れず”強引に自説を押し通すトランプ流は様々な軋轢を生むでしょう。

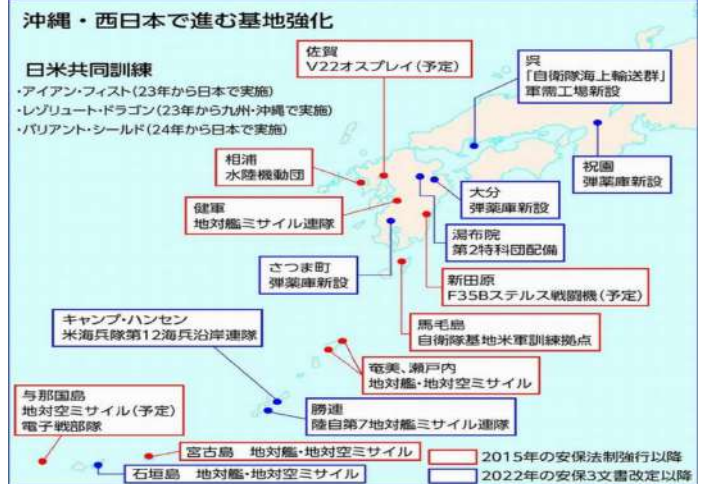
トランプ氏の「売り」は不法入国者の強制送還です。すでに軍用機を使ってグアテマラへの数百人の送還が行われ、大統領は「うまくいってる」と自慢げにその様子を公開しています。気候変動、人種差別、ジェンダーなどこれまでの歴史的な積み上げを無視し、ファクトチェックも止めて常識や科学的な証明さえ否定するようなマスク氏の起用。就任式でののはしゃぎように背筋が寒くなる。



着々と進む戦争準備 日本は中国包囲網の拠点化

大軍拡路線は着々と進められています。国会審議を経ないまま、閣議決定だけでスタートしています。残念ながら総選挙の結果与党が半数割れしたのちも、国会は別のところに目を向けています。

台湾有事は日本の有事などと宣伝し、アメリカの中国包囲に加担どころか、先兵になって「敵基地攻撃」をする危険が強まっています。



2025流山憲法集会

5月10日(土)流山市生涯学習センター

講師に

雨宮処凛 さん決定
(あまみやかりん)

作家、政治活動家。反貧困ネットワーク世話人、『週刊金曜日』編集委員。

世の中の「生きづらさ」を見据え、格差・貧困問題を追及、発信し続け、日本ジャーナリスト会議賞を受賞している。厚生労働省ナショナル・ミニマム研究会委員、「こわれ者の祭典」名誉会長。



仲間の人権さえ守らない 自衛隊に国民は守れない

防衛大学校在学中、上級生から執拗ないじめを受け、心の深い傷を負った30代の元学生Aさんが国と加害者である元上級生の責任を問い4600万円の損害賠償請求裁判を起こしました。

Aさんは2013年に防衛大に入学。いじめにより適応障害やうつ病を発症し、「学生間指導」で集団的に罵倒されるようになりました。防衛大側はいじめを知っていたのにAさんを加害者と同じ中隊に配属。Aさんは自殺未遂するまでに追い詰められ、在学中に受けたいじめが原因で現在も声を出せない。

昨年横浜地裁は請求を棄却。1月15日東京高裁で控訴審が開始されました。父親は「息子がこの裁判を始めたのはこのままではひき下がれないという思いからだ。防衛大では入学した人の2割が途中で辞めていく。これは異常だ」と訴えています。

◆別の事件ですが、防衛大のいじめで退学を余儀なくされた原告が国と加害者8名を訴えた裁判。原告が受けた人権侵害の実態の一部を紹介します。原告勝利の福岡高裁判決でも認定されたものです。

平成25年学生Aは同室の1年生の電話や清掃などが不適切だと1学年5名に乾いたカップ麺を食べさせ、カルピスの原液を一気飲みさせ、腹を踏んだりし、風俗店に行かせて動画を撮らせました。Bが風俗店に行くことを断ると、Aは1年のCに見張りをさせ、Bに下半身を露出させ、下腹部にアルコールをかけ、火を点けて火傷を負わせ、その状況を他の1学年に撮影させてLINEに投稿させたというのです。

殴る蹴るは横行し、防衛大が実態把握のため実施したアンケートでも半数近くが、「見た」「聞いた」と答えています。退学する状態も異常ですが、こうした中で育つ幹部候補の彼らが幹部となる自衛隊が、国民を本当に守れるのでしょうか。

核兵器禁止条約締約国会議

政府はオブザーバー参加拒否

石破内閣は日本の被団協がノーベル平和賞を受賞して世界の注目を浴びている今日も批准を拒否。3月に開かれる締約国会議へのオブザーバー参加も拒否。しかし自公与党の議員を派遣するとも伝えられます。まるで「表立って参加はアメリカの手前、できないのですが、やはり気になるので覗きに行ってもいいですか？」とでもいうような姿勢。被爆国日本の与党が締約国の仲間入りもせず、アメリカの顔色をうかがいながらしか物事を決められないという情けない姿を世界にさらすだけではないでしょうか。被団協の田中さんは受賞の際の演説でも必死に参加を訴えたのに。



「ガザからの報告」DVD上映会

ガザの難民キャンプに住み込みパレスチナの人々と共に生活した25年間。土井敏邦が生々しく伝える。

「ガザからの報告」は全編で205分の長編のため、第1部と第2部と2回に分けて上映します。

どちらにご参加されても結構です。

第1部：3月30日（日）13:00受付 13:30～15:30

第2部：3月31日（月）13:00受付 13:30～15:00

*各回上映終了後に意見交換があります。

（ご参加は任意）

場所：流山市生涯学習センター C409



参加費：各回500円（学生無料）

九条の会・流山 成人式参加の若者に訴え

1月12日キックマンアリーナで流山市の成人式（20歳を祝う会）が行われ、九条の会は参加者に「成人式おめでとうございます。戦争にならないように憲法9条を守りましょう」とチラシを配布。多くの若者が快く受け取ってくれました。

映画上映と講演

シャドー・ディール

日時：2月15日(土)16:30開場

会場：市川市八幡市民会館（全日警ホール）2F代会議室
入場料：1000円。

講師：杉原浩司（武器取引反対ネットワーク代表）

「武器見本市という憲法的大惨事」

共催：・幕張メッセでの武器も本市に反対する会

・安保関連法に反対するママの会

・市川市平和委員会

巨額マネーが動くもう一つの世界。武器ビジネスの闇。"人を殺すための道具"である武器。戦争が続く限り需要が無限に生まれる。莫大な利益を生む国際武器取引を暴く、衝撃のドキュメンタリー。

千葉幕張メッセで5月に武器見本市が行われ、世界から武器で大儲けを企む企業が集まる。

「九条の会・流山」宣伝と署名

◆1月9日(木)15:30

おおたかの森駅自由通路

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会・流山